# Abstract:

# JP 60-235992

As shown in FIG. 1, a heat pipe with two separated portions is provided. One separated portion is a vacuumed metal pipe 1 whose end is sealed by a sealing material 2 such as glass. The other portion is a vacuumed metal pipe 4 filled with a heat medium 5 and sealed by a sealing material 3. As shown in FIG. 2, the vacuumed pipe 1 and the pipe 4 filled with a heat medium 5 are connected by using a brazing material. Because the pipe is vacuumed in advance, there is no problem due to heating the heat medium during the connecting of two pipes.

### の日本国特許庁(JP)

① 特許出願公開

#### ⑫ 公 開 特 許 公 報 (A) 昭60 - 235992

@Int,Cl.4

識別記号

庁内整理番号

❷公開 昭和60年(1985)11月22日

F 28 D 15/02

102

Z - 7330 - 3L

審査請求 未請求 発明の数 1 (全2頁)

ヒートパイプ ❷発明の名称

> 顧 昭59-92236 ②特

顧 昭59(1984)5月8日 ❷出

石 原 砂発 明 者

敏 秋 棟 彦

門真市大字門真1006番地 松下電器產業株式会社内

門真市大字門真1006番地 松下電器產業株式会社内

: .

砂発 明 者 徳本

門真市大字門真1006番地

松下電器産業株式会社 砂出 願 人 20代 理 人 弁理士 中尾 敏男

外1名

### 1、発明の名称

ヒートパイプ

## 2、特許別求の範囲

(1) 銀などの金属製パイプの端部を、ガラス・セ ラミック・磁器等の金属よりもろいシール材でシ ールし、内部に熟媒を封入してなるヒートパイプ。 (2) 複数のパイプを連結一体化する特許請求の範 囲第1項記載のヒートパイプ。

#### 3、発明の詳細な説明

産業上の利用分野

本発明は、ヒートパイプに関するもので、これ は太陽熱温水器、地熱利用給器暖房機、廃熱回収 装置等に利用できる。

従来例の構成とその問題点

第4図、第5図、第6図に従来例を示す。第4 図は2ユニットに分割したヒートパイプを工場で 作った状態でありパイプ11、パイプ12、シー ルパイプ13を有する。第5図は第4図で示した パイプ11、12をコー材14で接合している図

である。第6図は第5図で接合したヒートパイプ をシールパイプ13を通して真空に した後熱媒 15を住入した図である。

しかしながら従来例においては、施工組立現場 で、ヒートパイプの真空処理と、熱媒の住入を必 要とする問題点があった。

### 発明の目的

本発明は従来の問題点であった施工組立現場で のヒートパイプの真空処理と熱謀の住入作業を廃 止することを目的とする。

### 発明の構成

本発明のヒートパイプは数本のパイプに分割し て作り、使用する時はパイプを接続して一体にす る。接続する両ユニットの端部はガラス等でシー ルされており、現場で接続するのである。

### 実施例の説明

第1図、第2図、第3図に本発明の一実施例を 示す。第1図はヒートパイプを分割した状態であ る、金属のパイプ1の内部は真空であり端部はガ ラス等のシール材2でシールされているパイプ4

10

の円部は熱媒5が封入され端部はガラス等のシール材3でシールされている。第2図は第1図のパイプ1,4を接合している図である。内部を真空にしたパイプ1を熱媒を封入したパイプ4をロー材6で接合する。パイプ1の円部は真空であるため熱媒を加熱する問題点は発生しない。第3図は第2図のシール材5を接合部7に外力を加えて破壊させ、両ユニットを連通させた状態を示す。

### 発明の効果

本発明はパイプを分割して作ることにより、ヒートパイプを有する装置の運搬、加工を容易にするとともに、現場でのパイプの接合において真空処理、 黙謀注入作業が不要となる。さらにパイプを接合した後に破壊されたガラス等のシール材は 跳騰石の作用として働きヒートパイプの性能を向上させることにもなる。

### 4、図面の簡単な説明

第1図、第2図、第3図は本発明の一実施例の ヒートパイプの断面図、第4図、第5図、第6図 は従来のヒートパイプの断面図である。 1 , 4 ……パイプ、3 <sup>…</sup>…シール材、5 ……熱 世

代理人の氏名 弁理士・中・尾 敏 男 ほか1名

